

四国の山間・島嶼の在来甘しょの収集

小巻克巳¹⁾・松本満夫²⁾・竹之内篤³⁾・岩城篤哉³⁾

- 1) 農業研究センター・作物開発部・甘しょ育種研究室
- 2) 高知県農業技術センター・育種バイオテクノロジー科
- 3) 愛媛県農業試験場・栽培育種研究室

Collection of Sweetpotato in Highland and Island Areas of Shikoku Region

Katsumi KOMAKI¹⁾, Mitsuo MATSUMOTO²⁾, Atsushi TAKENOUCHI³⁾
and Atsuya IWAKI²⁾

- 1) *Laboratory of Sweetpotato Breeding, Department of Crop Breeding,
National Agriculture Research Center, Tsukuba, Ibaraki 305, Japan*
- 2) *Plant Breeding and Biotechnology Section, Kochi Agricultural
Research Center, Nangoku, Kochi 783, Japan*
- 3) *Laboratory of Cultivation and Breeding, Ehime Prefectural Agricultural
Experiment Station, Hojo, Ehime 799-24, Japan*

Summary

We explored for collecting local cultivars of sweetpotato in highland and island areas of Ehime and Kochi prefectures from September 7 to 11, 1993. A total of 33 cultivars were collected. Some of these looked like cultivars registered by MAFF. Sweetpotatoes in this area are cultivated for personal use and for food processing in small factory by old farmers. As they are getting old, local cultivars are now disappearing.

KEY WORDS : Sweetpotato, Kochi prefecture, Ehime prefecture

1. 目的

甘しょは17世紀初頭に沖縄に伝来して以来、台風や干ばつ等の自然災害に耐えるところから、急速に北上を重ね19世紀中頃には北海道を除く日本各地で栽培されるようになった。その間、南西諸島、奄美群島、九州及び四国等においては数次にわたって、諸外国から新たな品種が導入され、それらが突然変異等を経て適地に在来品種として定着していった¹⁾。

これまでに南西諸島、奄美群島から九州にいたる地域については在来品種の調査と収集が行われており、様々な在来品種がジーンバンクに導入されてきた^{2),3),4)}。しかしながら、四

国の山間及び島嶼地域の調査は全く行われていなかった。これらの地域は過疎化が著しく、また高齢化が進んでいるところから在来品種は消滅の危機にさらされており、早急にこれらの調査・収集を行う必要がある。このため、本年度は、特に愛媛県および高知県において調査・収集を行った。

2. 経過

収集は1993年9月7日から11日にかけて行ったが、愛媛県については事前に竹之内及び岩城によって県内のかなりの甘しょ遺伝資源を収集されていたため、調査未了の宇和島市周辺を対象とした。高知県については高知県農業技術センターから県内の農業改良普及所に対して甘しょの栽培実態に関する調査依頼を行い、それに基づき収集対象地域を絞った。また、高知県の中で訪問できなかった地域については普及所の協力により、10月以降高知県農業技術センター宛いもの送付を受けた。現在、これらの材料はすべて農業研究センターの温室で維持している。

3. 収集結果

収集対象及び別途送付を受けたいもの収集地域を Fig. 1 に示す。これらの地域での成果は Table 1 に示すとおりで、愛媛県で10点、高知県で23点を収集した。今回収集対象とした地域は山間部がほとんどであり、市場販売用に大規模に栽培しているところはなく、蒸切干あるいは自家消費用に山の斜面で少しづつ栽培され、その面積は極めて小さかった。このため、栽培されている品種は比較的古いものが多く、蒸切干用ではカロテン品種の単人いものが栽培されていた。また、これまで遺伝資源として保存している材料の中にみられなかったような品種、例えば高知県吾北町で収集した「もろぎ」、が認められた。しかし、訪問したどの農家でも最近の品種の味に対する評価が高く、「高系14号」や「ベニアズマ」に置き替わっていた。



Fig. 1 A map of collecting sites
主な収集地点

Table 1 Sweetpotato germplasm collected in Ehime and Kochi prefectures
愛媛及び高知県で収集された甘しょ遺伝資源

収集 番号	品種名	収集地点	草 卷 つ 茎 節 頂 葉 葉 脈 蜜 腺 葉										いもの		その他			
			型	る	性	色	色	色	色	色	色	形	皮色	肉色				
愛93- 1	七福	越智郡波方町馬乃湯															愛媛県農試で収集	
- 2	ク	新居浜市大島															ク	
- 3	白いも	越智郡岩城村											Y	LY			ク	
- 4	ひがしやま												R	LO			ク	
- 5	兼六												B	LO			ク	
- 6	不明	宇和島市															ク	
- 7	不明	松山市															ク	
- 8	内原	今治市				1				2		2	R	LO			ク	
- 9	不明	宇和島市三浦半島	5	1	2	2	V	4	5	1								
-10	不明	ク	6	1	4	4	G	3	1	3								
高93- 1	七福	宿毛市	5	1	4	5	G	1	1	2	YW							
- 2	人参いも	ク	5	1	5	5	G	5	7	3	LR						準人いも?	
- 3	シモン1号	ク	6	1	2	4	G	5	7	4	YW							
- 4	人参いも	中村市平野	5	1	7	7	G	7	9	4	LR	LO					準人いも?	
- 5	ほふらいも	幡多郡大方町	5	1	7	7	G	5	7	4	LR	LO					ク	
- 6	国宝	ク	7	2	4	4	B	2	4	4	LR	LYW					蔓を食する	
- 7	しろいも	ク	5	1	3	3	G	1	1	2	YW	YW						
- 8	人参いも	伊野市	5	1	7	7	G	4	5	2	LR	LO						
- 9	しろいも	ク	5	1	1	6	G	7	9	4	YW	YW					コガネセンガン?	
-10	もろぎ	吾川郡吾北町	6	1	2	4	G	2	1	3	LR	W						
-11	メリケン	ク	6	1	4	4	G	1	1	2	YW						七福?	
-12	あかいも(早生)	ク	7	2	3	3	B	2	4	1	RV	YW						
-13	14号	ク	6	1	1	1	G	1	1	1	R	LYW					高系14号	
-14	14号	ク	5	1	1	1	G	1	1	1	R	LYW					ク	
-15	赤いも	長岡郡大豊町中村大王																高系14号
-16	白いも	ク																高系4号
-17	コガネ	土佐郡土佐町伊勢川																
-18	功典いも	室戸市																普及所より送付
-19	不明	香美郡香北町有瀬																ク
-20	ク	ク																ク
-21	ク	ク 物部村五王堂																ク
-22	ク	ク 神池																ク
-23	ク	高岡郡橋原町四万川																ク

4. 所感

今回の対象地域は山間地域が主であり、そこで農業を営んでいる人は例外なく高齢者であった。このことから、これらの人が農業を放棄したとき、これまで大切に維持されてきた在来品種は喪失することはまちがいない。また、新しい育成品種がこうした地域まで浸透してくるにつれ、在来品種は失われていく傾向がある。事実、中村市の農家では在来品種は作りに

くいし、新しい品種の方が美味であるという理由で、在来品種を栽培しなくなったという話を聞いた。このことから、早急に再度時間をかけて、これらの地域の甘しょ在来品種の調査・収集を行う必要があると考えられる。

最後に、今回の収集に際し快く協力していただいた高知県の宿毛，中村，中央及び嶺北農業改良普及所の皆さん，突然の訪問にもかかわらず地上部や塊根の採取を許可して頂いた農家の皆さんに心より御礼申し上げます。

5. 引用文献

- 1) 小林 仁 1984. サツマイモの来た道. 古今書院
- 2) 樽本 勲・石川博美 1989. 沖縄県離島の在来甘しょの収集, 農研センター, 1988年. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 5 : 47~79.
- 3) 片山健二・石川博美 1990. 沖縄県離島の在来甘しょの収集, 農研センター, 1989~90年. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 6 : 31~40.
- 4) 吉永 優・小巻克巳・日高 操 1990. 奄美群島における甘しょ在来種の収集. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 6 : 87~92.

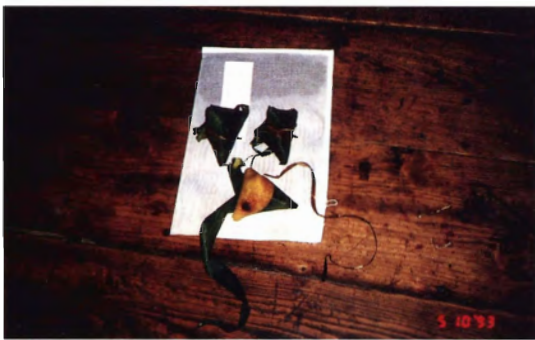
種子島・屋久島における在来作物の探索収集



屋久島・上屋久町・志戸子の菜園
サトイモ、ササゲ、サツマイモ等が作られていた

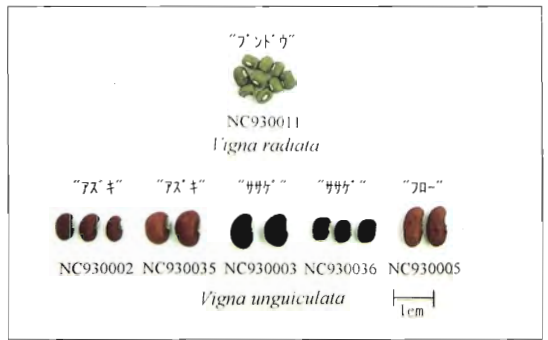


屋久島・上屋久町・永田・浜の小倉マリ子さんが
保存していたアワの穂



ツノマキ

ツノマキは、もち米とササゲを2枚の暖竹の葉で三角形にまいて、灰汁で3～4時間煮込んで作る食べ物で節句やお盆にはかかせないものである
種子島・南種子町・西之本町・岩坪タエさん宅にて



種子島・屋久島で収集したりョウトウとササゲ
NC930011 “ブドウ” 種子島南種子島西之
NC930002 “アズキ” 種子島西之表市国上奥
NC930035 “アズキ” 屋久島上屋久町永田向江
NC930003 “ササゲ” 種子島西之表市古田
NC930036 “ササゲ” 屋久島上屋久町永田向江
NC930005 “フロー” 種子島西之表市住吉深川
(注) “ ”内は呼称であり作物名ではない

四国の山間・島嶼の在来甘しょの収集



山間地の斜面で栽培されている甘しょ
(高知県吾川郡吾北町)



段畑で栽培されている甘しょ
(愛媛県宇和島市三浦半島)